



サ・エ・ラ

Take Free 

Cà et là

サ・エ・ラはフランス語で「ここかしこ」を意味し、皆様と病院の情報提供・交換をモットーとするものです。



『秋月・鳥野川と長生寺』 撮影者:患者 谷口 晴満様

理 念

私たちは「信」を重んじ、医療人としての職業倫理を遵守し、誠実な医療活動をおこないます。
私たちは、整形外科の専門知識と技術を研鑽し、最新、最良の医療を提供します。

基本方針

- 患者さまが個人の尊厳を尊重され、公平に安心して診療がうけられますように医療環境を整備し、常に対話を通じて病状の理解に努め、皆様にご満足いただける医療をめざします。
- 診療におけるいかなる個人情報も、秘密は守られプライバシーは厳正に保護されます。
一人ひとりの患者さまの病状を把握して、十分な説明をおこない、患者さまとともに最良の治療法を選択します。
- 病院は医療環境の安全管理を常に考え、職員の教育に努めます。
- 職員は病院の理念を十分に理解し、各自の専門技術の向上・研鑽に努力します。
- 地域医療機関との連携を密にして、整形外科の専門医療をもって地域医療の役割を分担します。

Contents

- 01 巻頭あいさつ
- 02 お知らせ
- 03-04 整形外科の疾患 半月板縫合
- 05 お知らせ
委員会活動日記／
06-07 PICK UP!／職場体験学習／
新人スタッフ紹介
- 08 院外研修実績



認知症患者の理解

福岡整形外科病院
看護副部長

山村 栄子



団塊の世代が75歳を迎える2025年には、4人に1人が高齢者だといわれています。私がここに就職した20年前と比べて、入院患者様の高齢化も確実に進んでいると感じます。それと共に、認知症の方も増えてきているのが現状です。当院に入院される方の多くは、手術を受けられます。認知症の方は、新しい環境に戸惑い、さらに手術となると混乱されることがよくあります。そのたびに急性期病院で認知症患者を看ることの難しさを感じます。

厚労省は、認知症対策の国家戦略として「新オレンジプラン」というものを今年の1月に策定しました。認知症がさらに増加していく背景を受けて「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会を目指す」を基本的考え方に据えています。内容は7つの柱をもとに構成されていて、その中の1つに「認知症の容態に応じた適時・適切な医療介護の提供」が掲げられています。私たち医療従事者の対応力向上の推進もその一つで、最近では認知症に関する研修会が盛んに開催されています。

先日、精神科の医師が講師を務める「急性期病院で認知症患者をどう見ていくか」という研修会に参加してきました。認知症の初期段階を

「もの忘れがひどくなってきた」などと表現しますが、その先生は「認知症とは、忘れていくことではなく新しいことを覚えられなくなる状態」だと話されました。

例えば、旅行や出張でホテルに泊まり、目覚めた時に、一瞬ここはどこかわからなくなることがあります。私たちは、新しいことを認識できるので、さすがに数分で現実を思い出します。認知症の方は思い出すことができません。「ここは何処?」と不安な気持ちが続くのだそうです。入院されたばかりの認知症の方が、現状の認識ができずに、帰宅願望を訴えることがよくあります。知らない場所で、知らない人たちに囲まれて不安な気持ちになることは当然なのかもしれません。

認知症の程度にもよりますが、入院してしばらくすると、落ち着かれるケースもあります。何となくスタッフの顔や入院という環境にも適応し精神的に落ち着くと、治療もスムーズになります。認知症の方は、認知機能は低下しますが、感情機能は残るそうです。病院は特殊な環境です。その方にとって安心できる環境の提供、看護師として患者さまを理解し、不安を軽減できるような言葉かけができるよう取り組んでいこうと思います。

外来駐車場リニューアルのお知らせ



外来駐車場 リニューアル!



患者さまならびに近隣住民の皆さまには、いつも当院をご利用、またご支援いただき、誠にありがとうございます。

当院は昭和52年開院以来、整形外科診療に特化した先進医療の向上を一貫してこころがけております。おかげさまで受診される患者さまは年々増加傾向にあり、職員一同、さらなる医療サービスの向上を目指して日々の業務に取り組んでおります。

しかしながら、患者さまが増えるに伴い、外来駐車場も手狭になってまいりました。特に平日の午前中は外来駐車場が満車となる日が多く、長いときは30分以上お待ちいただくこともございます。来院される皆さまには、大変なご不便・ご迷惑をおかけしております。

このように慢性的な駐車場不足を改善するため、このたび病院北側のワンルームマンション跡地に駐車場増設スペースを確保し、外来第1駐車場(病院敷地内)の拡張を行うことといたしました。駐車台数は59台となり、30台ほど増える予定です。この対策によって、日頃の混雑が大幅に緩和される見込みです。

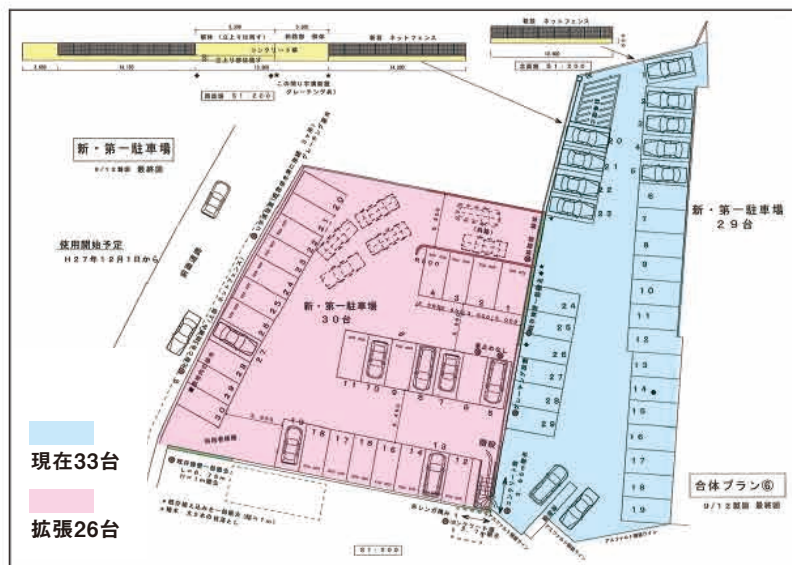
利用開始日および留意事項は以下のとおりとなりますので、どうぞよろしくお願い致します。

利用開始日

平成27年
11月23日(月・祝)

駐車台数

外来第1駐車場(病院敷地内)
33台 → 59台に拡張!



▲新第一駐車場図面

在りし日の
ワンルームマンション



Before

／病院全体が臨めるようになりました！



After

工事期間中は
ご不便、ご迷惑を
おかけ致しました。
ご協力いただき
誠にありがとう
ございました。



知っておきたい

整形外科の

疾患

解説します!

医師 松田 匡弘

日本整形外科学会 専門医
日本手外科学会 会員



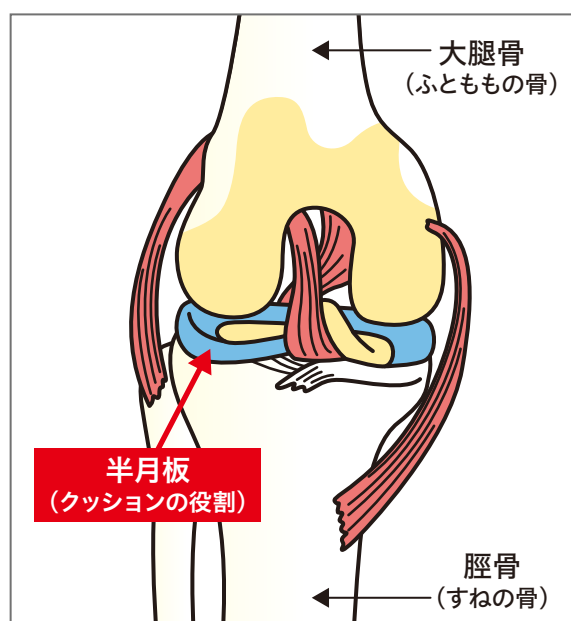
はん げつ ばん ほう ごう 半月板縫合

1

半月板とは？

膝関節は大腿骨と脛骨の間に関節面を形成しています。お互いの骨の表面は関節軟骨が覆っており、その間に半月板が存在します。この構造体が、スムーズな関節の動きと荷重分散機能(クッション)の役割を担っています。半月板は線維軟骨で構成され、半月の形状をしています。前角、前節、中節、後節、後角に分けられ、それぞれに特徴があります。

また数%の割合で、生まれつき半月板の形状が半月ではなく、大きい円盤の形をした円板状半月の方が存在します。円板状半月は、構造的にも弱く破損しやすい傾向があります。



2

どのようにして損傷するのでしょうか？

スポーツ時に膝をひねったり、日常生活の中でも、立ち上がる際や階段でひねったりすると、大腿骨と脛骨の間で半月板がはさまれて損傷します。断裂形態は横断裂、縦断裂、水平断裂などに分けられます。

円板状半月は構造的な脆弱性があり、明らかな原因がなくても損傷します。

その他、関節軟骨の変性や摩耗による変形性膝関節症が見られる高齢者の多くは、半月板も老化現象で変性しており、軽微な外傷や明らかなきっかけがない場合でも、損傷して痛みやひっかかりを生じることがあります。



3

症状は？ どのように診断するのでしょうか？

半月板が損傷すると痛みやひっかかり感、膝の可動域制限や動かしたときの雑音がみられます。症状が進行すると、軟骨損傷や骨挫傷^{こつざしょう}などによって、関節内水腫^{すいしゅ}を起こします。

以上のような臨床症状で、およそ半月板損傷の診断は可能ですが、MRI撮影によって約90%もの確率で診断できます。しかし、変性した半月板は描出困難であり、内視鏡を用いた関節鏡手術で診断する場合もあります。

MRI画像(半月板損傷あり)▶



4

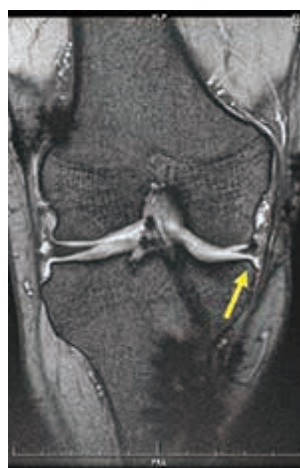
治療法

症状が軽微であれば、内服や安静、関節内注射で症状が軽快する可能性があります。しかしながら、症状が続いたり、再発したときには関節鏡手術が行われます。

手術は通常、損傷している部分のみを切除する半月板部分切除術が行われ、正常な部分は残します。高齢者や半月板の変性が強い場合、損傷部の血行が悪く治癒能力が低いときには部分切除の適応となります。



▲縫合後の半月板

MRI画像
(半月板縫合術後)▶

半月板の温存が可能であれば、将来的な変形性膝関節症の予防のために、半月板縫合を行います。近年、半月板縫合術は機械や技術の進歩により可能となってきていますが、半月板の状態によっては縫合しても再断裂する可能性もあり、術中の所見を加味して術式選択を行います。半月板縫合は部分切除と比較して、長い入院とリハビリが必要となります。

5

術後経過について

術後にシーネなどで膝を固定し、徐々にリハビリを開始していきますが、半月板の損傷部位・損傷形態・手術法によって方針は異なります。一過性の関節内水腫や曲げづらさ、重だるさを感じることもあります。

また退院後も、膝周りの筋力強化や軟骨変性進行予防の足底板、関節内注射などを必要に応じて継続していきます。術後半年頃にスポーツ復帰の許可をします。

膝関節内の組織は非常に治癒が遅く、MRIでもはっきりと癒合しているかどうか長期間経たないとわからないこともあり、継続した外来通院が必要です。



院内感染防止研修会



平成27年7月27日(月)、職員を対象とした感染防止に関する研修会が実施されました。患者さまを感染から守ることはもちろんですが、医療従事者も細心の注意をはらい日々感染から身を守り業務を行わなければなりません。

今回は、「職業感染」をテーマに、ウイルス感染や針刺し事故による感染など、様々な事例を想定し、ワクチンの接種など職員への注意を促しました。

また、研修後半は血液や嘔吐物の処理をシミュレーションし、防護具の着脱の手順や、手指消毒の方法を実践形式で行いました。

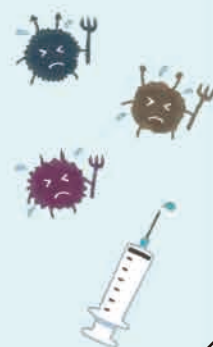
これからもあらゆる感染を防止し、より安全な院内環境を保持するよう、職員一同さらなる研鑽^{けんさん}と自覚を踏まえ、今後の医療活動に従事したいと思います。



講師を務める鶴田師長



研修の様子



医療安全管理研修会

平成27年8月17日(月)、「みんなでTRY!! 指差し呼称」をテーマとした医療安全研修が実施されました。

当院では、医療における人為的エラーを防ぐ目的で「指差し呼称」の普及を推進しています。指差し呼称とはその名の通り、確認する物を指で差し、声を出しながらチェックする方法です。

今回の研修では実際にスタッフが業務の中で行える「指差し呼称」を習得してもらうことに重きを置き、実演を何度も行いました。写真のような「指差し呼称」ポーズは実際の現場で実施することは難しい面もありますが、人為的エラーを未然に防ぐため「指で差し、声に出しながら確認する!」ことは怠らずに実行し、日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。

CHECK!



王寺院長も実践しました♪



指差し呼称を実演するスタッフ





委員会
活動日記

vol.2

リスクマネジメント委員会

＼ 私たちがリスクマネジメント委員会のメンバーです！ ＼

文責／手術中材室主任:伊藤 照美



リスクマネジメント委員会とは？

医療事故防止のために具体的な対策を検討したり、院内で発生した医療事故などについて、情報の収集・分析を行う委員会です。診療部長の徳永先生と、医療安全管理者の山内師長のもと、活動をしています。

今回は、日頃行っている様々な活動をご紹介します。

会議の様子



毎月1回開催します。
医療には、看護師や医師・薬剤師・栄養士などいろいろな職種が携わります。院内の各部署全てから委員会メンバーが集まり、「ヒヤリハットレポート」、「医療事故報告」を討議します。

医療事故を防ぐため、みんな真剣です。内容によっては討議が白熱することもしばしばです。

秘 情報

リスクマネジメント委員会では年2回、医療安全研修を主催しています。スタッフ全員参加なので、興味を持って聴いてもらえるよう頑張っています。

この日は来年度の研修に向け、事例をもとにビデオ撮影を行っている現場です。ドラマ仕立てで、身近な人が演じるので、毎回好評です。



＼ 院内ロケ中です！ ＼



みんな結構演技派です！

今回の
サプライズゲスト！

院内ラウンドの様子

この日は検査室のラウンドです。環境チェックとともに、担当者にインタビューを行い、システム上の問題がないか調査します。



学会発表



医療安全管理者は、「ヒヤリハットレポート」から院内の転倒や、ベッドからの転落などの件数を調査・分析しています。その中から今回は、人工関節置換術(TKA)の方が、術後にベッドの横に腰掛けた状態から、滑り落ちることがあることに着目し、看護研究を行いました。

今年、愛媛で開催された日本看護協会の急性期看護学会で発表しました。



「みきゃん」
可愛かったです♡

愛媛県のゆるキャラ「みきゃん」

医療安全管理者の
山内です！
ベッドの横に
腰掛けている時も、
気を付けてくださいね！



PICK UP!

「区民と医師の会」講演会に参加

平成27年9月8日(火)、弥永公民館において行われた「区民と医師の会」に当院の松田医長が招かれ、地域の皆様に「ロコモティブシンドローム(略称ロコモ)」の話をしました。ロコモとは運動器の衰え・障害によって、要介護になるリスクが高まる状態のことです。松田医長は講演会の中で、日常的に介護を必要とせず自立した生活ができる健康寿命の大切さや「開眼片脚立ち」「スクワット」を続けることがロコモ予防に役立つこと等を皆様にお伝えしました。今回の講演会を通じて、ロコモを知っていただき、一人でも多くの方に健康で長生きしていただけるように願っております。



▲講演する松田医長



職場体験学習

9月8日~10日の3日間、福岡市立平尾中学校から男女8名が「職場体験学習」に来院しました。将来の進路を考えるにあたり、医療従事者の働き方を見て、体験して、感じてもらうと、毎年、看護部が主となり受け入れています。また、医師と看護師だけではなく、院内で働く様々な職種や資格に興味がわくように他部署見学等も設けています。

はじめは緊張している様子でしたが、医療機器の取り扱いや患者さまとコミュニケーションをとるうちに表情が柔らかくなり、笑顔も出てくるようになりました。最終日にはスタッフとも打ち解けて、最後は別れを惜しみました(笑)。

彼らの将来の夢が叶い、一緒に働ける日がくることを心待ちにしています!



▲血圧測定の様子



▲手当の様子



▲配膳の様子

職場体験の様子



New Face☆

新人スタッフ紹介

4名の新しいスタッフが加わりました。
一生懸命がんばりますので、
どうぞよろしくお願いいたします。

平成27年
9月1日

大野 隆輔

手術中材室看護師

平成27年
9月1日

武末 ひかり

病棟看護師

平成27年
10月1日

吉村 ゆみ

看護助手

平成27年
10月1日

野口 圭介

看護助手



院 外 研 修 実 績

平成27年7月～平成27年9月

～ 講演・学会発表・研修会参加実績等 ～

※ 医師については学会発表・講演のみの掲載にしており、学会参加の掲載は省略しています。

■ 医局

日 付	学 会 名	演 者	演 題	場 所
7.11	第13回福岡スポーツ研究会	王寺 享弘	プロ野球選手に於ける膝関節軟骨障害の経験	福岡
7.12	Hip Fracture Seminar in 東京	徳永 真巳	頸基部骨折(前額面剪断骨折含む)に対する直接的整復テクニックと内固定の実際: ついに髄内釘の限界がみえたのか?	東京
7.26	Hip Fracture Seminar in 名古屋			名古屋
8.1	第2回九州Knee Osteotomy研究会	松田 秀策	50歳以下の内外側型末期OAに対する片側仮骨延長法	福岡
9.19	大腿骨転子部骨折治療セミナー in 福岡	徳永 真巳	大腿骨転子部骨折の診断(X線像/CT像) 整復不良がもたらす功罪	福岡
9.26	SOTC湘南外傷整形外科コース	徳永 真巳	脛骨プラトール骨折に対する内視鏡の応用	鎌倉

■ 放射線科

日 付	学 会 名	演 者	演 題
7.24	第21回症例勉強会 ～骨・関節領域～	釘宮 慎次郎	腰椎撮影 立位? 臥位?
9.10～12	第43回日本磁気共鳴医学会大会	辻 英雄	足関節広範囲撮像における最適コイルの検討
9.12	平成27年度 九州地域放射線研修会	釘宮 慎次郎	X線単純撮影における読影・診断補助について
9.19～20	診療放射線技師基礎技術講習 (X線CT認定技師指定講習会)	釘宮 慎次郎	整形外科領域

■ 看護部

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.1	看護に活かすフィジカルアセスメント	2名
7.2	最新知識に基づいた褥瘡ケア (基礎編)	3名
7.7	看護がみえる看護記録	4名
7.9～7.10	災害支援ナース養成研修 (基礎編)	1名
7.14	輝け☆主任!	1名
7.16～2.5	スキルアップ看護研究 (7日間)	1名
7.22	知っておきたい心電図の基本	2名
7.27	フィジカルアセスメント I	1名
7.29	チーム力に活かすファシリテーション技術	1名
7.31	看護職ができる退院支援・調整	3名
7.31～8.4	スキルアップ退院調整看護師育成 (3日間)	1名
8.6	臨床倫理の考え方	3名
8.7	第2回 WLB推進研修	1名
8.11	チーム力に活かすファシリテーション技術	1名
8.22	看護職の継続教育を支援する	4名
8.22	准看護師交流会	1名
8.26	ナースができる浮腫へのアプローチ	1名
8.27	困っていませんか? 大人の発達障害	4名
9.8～9	第46回 日本看護学会 (看護管理)	3名
9.11	子育て看護師交流会	2名
9.11～9.17	スキルアップ看護管理者 (5日間)	1名
9.12	第33回 日本手術看護学会 九州地区	3名
9.15～16	九大病院 新人看護職員受け入れ研修	2名
9.18	新人のための安全な移動・移乗の技術	2名
9.29～30	第46回 日本看護学会 (急性期看護)	4名
9.30	30代のメンタルヘルス	3名

■ 看護部学会

日 付	学 会 名	演 者
9.9	第46回 日本看護学会(看護管理) 単科病院に就職した看護師の早期離職率が低下した要因	山内 知子
9.12	第33回 日本手術看護学会 九州地区 動画を用いたオリエンテーション	青木 和代
9.29～30	第46回 日本看護学会(急性期看護) 人工膝関節術後患者のベッド端材からの転落の要因分析	山内 知子
	第46回 日本看護学会(急性期看護) 術後観察室に移床した患者の心理状態 ～整形外科手術後の患者の体験から～	野口 和枝

■ 臨床検査科

日 付	研 修 会 名 等	参加者
8.22	日赤輸血シンポジウム	3名
9.6、27	福岡県赤十字血液センター輸血研修会	1名

■ 薬局

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.8	ICT交流会	1名

■ リハビリテーション科

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.3	福岡整形外科勉強会 「腰椎のみかた」 演者: 藤田慎矢	1名
7.12、9.6	腰部コースセミナー	
7.15、8.19、9.16	筑後地区ハンドセラピー研修会	1名
7.16	Sports Medical Coordinator 勉強会 動作における足部の役割	9名
7.17、8.25	WHAT' S 勉強会	2名
7.25、8.29、9.26	logic 勉強会	1名
7.26	アシスタディ ADVANCE COURSE	5名
8.2	武雄看護リハビリテーション学校 卒後セミナー 「膝の機能障害の捉え方」 演者: 藤田慎矢	6名
8.27	Sports Medical Coordinator 勉強会 呼吸が変わる! 胸郭へのアプローチ	
8.29	職場でできる理学療法とは?	2名
9.5	大阪 川内総合病院 「膝の可動域制限を考える」	1名
9.17	Sports Medical Coordinator 勉強会 パフォーマンスを上げる肩機能へのアプローチ	9名
9.28	ashi study Basic II	1名
	現場のための勉強会コースセミナー (全10回)	8名

■ 医事課・MSW・総務課

日 付	研 修 会 名 等	参加者
8.30	医療ソーシャルワーク論 (地域生活支援) 1	1名
9.20	医療ソーシャルワーク論 (地域生活支援) 2	1名

■ 栄養課

日 付	研 修 会 名 等	参加者
8.29	栄養管理研修会	1名
9.16	給食施設従事者研修会	1名
9.25～26	日本栄養改善学会学術総会	1名

外来診察担当医一覧表

受付時間							
曜日	午前(8:30~11:30) ※診察開始 9:00~						午後(13:30~16:00) ※診察開始 14:00~
月	王寺 享弘	宮城 哲	吉本 栄治	松田 秀策	碓 博哉	松田 匡弘	———
火	王寺 享弘	徳永 真巳※	宮城 哲	真鍋 尚至	松田 匡弘	高橋 宗志	徳永 真巳※
水	吉本 隆昌※	徳永 真巳※	吉本 栄治※	碓 博哉	真鍋 尚至	—	———
木	吉本 隆昌※	吉本 栄治	松田 秀策	碓 博哉	—	—	吉本 隆昌※
金	王寺 享弘	宮城 哲	松田 秀策	真鍋 尚至	松田 匡弘	高橋 宗志	香月 正昭※
土	交替であたります(土曜の受付は11:00で終了致します。初診のみの対応です。)						———

※印の医師の診療につきましては、予約を行っております。医事課予約係までお電話ください。
予約受付時間／月曜～金曜 9:00～17:00

※これは平成27年11月1日現在のものであり、都合により変更になる場合もあります。また、学会・出張等により、休診になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。
※火・木・金曜日の午後の診療は(再診のみの完全予約制)となります。



- バス**
- 天神(福ビル前or協和ビル前)より 51番
 - 天神(大丸前)より 151番
 - 博多駅(バス停A)より 50番

- 博多駅(郵便局前バス停B)より 65番
 - 博多駅(郵便局前バス停C・D)より 64・67番
- 野間四つ角で乗換え
50・51・151・区1番

- 西鉄大牟田線**
- 高宮駅下車
- バスに乘換え
50番 51番

降車バス停
皿山1丁目



医療法人 同信会
福岡整形外科病院
FUKUOKA ORTHOPAEDIC HOSPITAL
整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・麻酔科
〒815-0063 福岡市南区柳河内2丁目10-50
TEL 092-512-1581 FAX 092-553-1038
<http://www.fukuokaseikei.com/>
【面会時間】平日・土曜 / 13:00~20:00
日曜・祝祭日 / 10:00~20:00
【休診日】日曜・祝祭日 【病床数】175床



Japan Council
for
Quality
Health
Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC995 号



Avispa
FUKUOKA

福岡整形外科病院はチームドクターとして『アビスパ福岡』をサポートしています。
頑張れアビスパ！！